

めっかりもうさん！

種子島農業普及だより

編集発行 熊毛支庁農林水産部農政普及課 (年3回発行)
西之表市西之表7590(TEL(0997)22-0053,22-0742/FAX22-1729)



農政普及課長
でぐち ひろし
出口 洋

種子島農業の更なる振興を図るため、関係
機関・団体と連携しながら、担い手の確保・
育成や産地づくりに取り組みます。
よろしくお願ひします。

技術普及係



きよもと なぎさ
清本 なぎさ
技術普及係長
(技術普及総括、安納いも、農業気象)

経営普及係



きさき けんや
木崎 賢哉
技術主幹兼経営普及係長
(普及企画総括、果樹、就農相談)

農業振興係



かわだはら ともゆき
川田原 智之
農業振興係長
(農業振興総括、農政企画推進、農林統計)



みつだ みか
満田 見佳
技術専門員
(花き、経営者クラブ)



はまだ あい
濱田 愛
農業技師
(畜産、青年、制度資金)



しげみず たけし
重水 剛
技術専門員
(作物、農業機械)



のま なおみ
野間 直美
技術専門員
(担い手、経営、食育)



おしげ よしみち
大重 吉通
技術専門員
(きび、担い手、植物防疫)



いなもり ようこ
稲森 陽子
技術専門員
(さつまいも、茶)



かく りゅうたろう
角 隆太郎
農業技師
(野菜、土壌肥料)



かまだ しげる
鎌田 茂
技術主査
(茶、病害虫、新規就農者)



もうい あやこ
毛井 文子
主事
(農業委員会、農業金融)



ふるまい ゆき
古市 夕紀
主査
(園芸、水稲、ブランド)



はしぐち ゆうすけ
橋口 雄介
畜産技師
(畜産、草地・飼料)

【 転 出 者 】

- ・今和泉 尋及 (フラワーセンター所長)
- ・時村 金愛 (県農政部農業経済課)
- ・前田 久美 (北薩地域振興局農政普及課)
- ・坂元 晴香 (退職)
- ・有田 聖矢 (退職)

「指導農業士」紹介

指導農業士とは、優れた農業経営を実践し、指導力のある農業者として、知事が認定するもので、新規就農者や青年農業者の育成に尽力していただいています。種子島地区の12名の指導農業士をご紹介します。

西之表市		中種子町		南種子町	
					
松下 栄市 (茶)	脇田 峰生 (水稲・野菜)	鮫島 安平 (酪農)	濱脇 嘉則 (兼たばこ・さとうきび)	大脇 光矢 (さとうきび・安納いも)	西園 浩二 (生産牛・野菜)
					
梶原 敏夫 (安納いも・ばれいしょ)	山口 三雄 (レジャー・ファーン)	瀬川 実明 (生産牛)	田中 満男 (さとうきび・安納いも)	浦口 啓一郎 (野菜・水稲・果樹)	石堂 かよ子 (水稲・花木)

※梶原さんと山口さんは、普及指導協力委員としても、活動していただいています。

サツマイモ基腐病対策

◎基腐病の発生が無い状態で梅雨明けを迎えましょう！

- ・しおれ株、下葉が変色した株、地際が黒い株は早急に抜き取る
- ・病害株の抜き取り後、殺菌剤を散布する
- ・畝間が滞水しないように、排水対策を行う



【安納いも】早期定植に向けた育苗準備

- ・基腐病対策としてトンネルや貼付マルチを利用した早期定植を推進しています
- ・早期定植用の苗を確保するため、育苗の準備を早めに取りかかりましょう

7～8月 育苗ほ場の片付け

9～10月 土壌消毒・ハウス準備

11～12月 バイオ苗の定植



【トンネル栽培】



【貼付マルチの利用】

早期定植の事例

【でん粉いも】種いも生産のポイント

- 1 種いも生産専用ほ場の設置
 - ・さつまいも連作ほ場でない
 - ・周辺ほ場に基腐病の発生がない
 - ・排水良好
 - 2 無病苗(バイオ苗)の導入
 - ・バイオ苗を利用する
 - ・苗は、必ず定植前に消毒する
 - 3 異常株の抜き取りと薬剤散布
 - ・定期的にはほ場を観察する
 - ・異常株は抜き取る
 - ・長雨前に農薬散布を実施する
- ※栽培日数120～130日、収穫時のいも重200～300gを目安とする

刈払機による事故に注意！

忙しくても、細心の注意を払い、ゆとりをもって農作業を行いましょう。
今回、刈払機事故の4つの特徴をまとめましたので、特に注意して下さい。

1 斜面・法面での不安定な姿勢による事故(29.5%)

●傾斜地・法面は滑りやすい ⇒ 小段の設置, スパイク靴の着用

2 回転刃による事故(接触, 飛散物)(29.5%)

●キックバック(下図参照)や小石, チップの飛散 ⇒ 防護の徹底, 飛散物カバーを外さない

3 詰まりなどの除去時の事故(18.2%)

●回転を止めず, 草の詰まりなどを除こうとして ⇒ 確実にエンジンを切ってから

4 周辺環境に起因する事故(15.9%)

●草むらの中に潜む杭や空き缶など ⇒ 慣れた場所でも事前確認



○刈刃の当て位置

●キックバック※1)を
起こしやすい位置

※1)キックバック

刈刃の右側で大きな灌木等を切断すると回転の反動で右側に刈刃部分が大きく振られ危険であるので左側(青線部)で作業する。

出典:(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会
農作業安全「リスクカルテ」より

硝酸態窒素中毒に気をつけよう！

自家産粗飼料の「硝酸態窒素濃度」について気をつけたことはありますか？
中毒症状の原因, 防止方法についておさえ, 症状の慢性化を防ぎましょう！

【硝酸態窒素中毒の原因】

飼料中に過剰に蓄積された硝酸塩(NO_3^-)は, 体内で分解しきれず血液中のヘモグロビンと結合します。本来酸素を運搬する役割ですが, 過剰に硝酸塩が結合すると酸素欠乏の状態となり, 急性・慢性症状を引き起こします。

急性症状・・・歩行のふらつき, 乳頭・唇等が青紫色に変色, 呼吸困難による死亡

慢性症状・・・食欲不振, 下痢の慢性化, 繁殖障害, 胎児に酸素が届かず流産

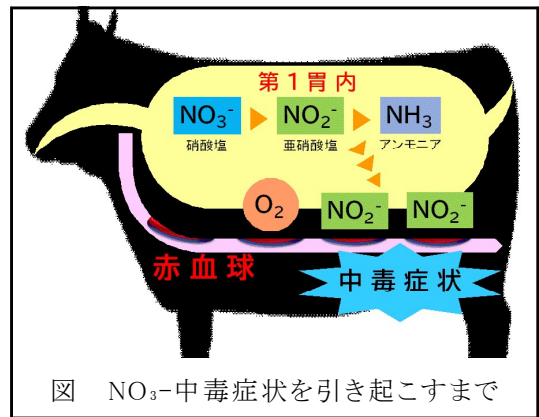


図 NO_3^- 中毒症状を引き起こすまで

【硝酸態窒素 蓄積しやすい草種】

蓄積しやすい雑草	蓄積しやすい	中程度	蓄積しにくい
・ハリビユ ・アオビユ	・イタリアンライグラス ・ローズグラス ・エン麦	・トモロコシ ・ソルガム ・クローバー	・チモシー ・アルファルファ ・バミューダグラス

1番草や若刈りでは吸収しやすく, 生育が進むにつれて低下する傾向があります。
島内で多く栽培されている草種は, 蓄積しやすいため注意が必要です。

【飼料中の硝酸態窒素濃度が気になったら】

熊毛支庁では, 簡易飼料分析を行っております。分析依頼をされる方は熊毛支庁農政普及課までご連絡ください。(TEL 熊毛支庁農政普及課 0997-22-0053)

【茶】最終摘採は7月下旬～8月10日に！

翌年一番茶の収量品質向上のため、最終摘採は適正な時期と位置で行いましょう。

最終摘採時期 目標：秋芽が十分硬化できる期間を確保

(1) 秋整枝時期(平均気温が20℃を下回る旬;10月中下旬頃)までに、20℃以上の有効積算温度を一定量確保するため、以下の時期までに摘採する。

ゆたかみどり(必要積算温度280℃)	: 8月10日まで
やぶきた等 (" 260~300℃)	: 8月5日まで

※摘採後の気象条件(低温の可能性など)を考慮し、早めの実施が望ましい

(2) **摘採時期の遅れ** → **秋芽の硬化不十分** → **冬芽形成の遅れ** → **一番茶の減収**

最終摘採位置 目標：秋芽を揃え、かつ伸長を促し、葉層8cm以上を確保

	一般茶園	更新茶園
摘採位置	一節以上 確保できる位置	二節以上 確保できる位置で、頂芽を剪除
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・‘ゆたかみどり’など徒長しやすい品種は、<u>上げすぎないように</u>。 ・‘さえみどり’など芽数型になりやすい品種は、<u>深摘みを避ける</u>。 ・三番茶(四番茶)は、秋芽を揃えるために<u>下芽が上がるのを待つて多くの芽を摘採する</u>。 ・更新園は、木化茎(赤棒)で整枝すると秋芽形成の遅れや芽数の減少を起こすため、<u>青茎部で整枝できるよう時期や位置に注意する</u>。 ・生育遅れの場合、再生芽の硬化や下芽の伸長を待たずに<u>時期優先で整枝し</u>、約1週間後に同位置で遅れ芽を整枝する。 	